

赤十字おしよ書

NO. **11**

Okayama Chapter



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社の国際活動



©Atsushi Shibuya/JRCS

Japanese Red Cross Society

世界のために、今、できること。

緊急時の救援活動に加え、人びとが自らの力で災害や病気に立ち向かえるよう、その国の赤十字と連携し、地域に根差した取り組みを進めます。こうした活動を支えるボランティアを育て、人道思想を広げることもまた重要な活動の一つです。

紛争で苦しむ人々への支援



日本赤十字社看護師が現地の看護師による診療を支援

バングラデシュ



©ICRC

地雷により負傷した子どもの歩行練習をサポート

アフガニスタン



日本赤十字社医師による現地スタッフへの技術指導

レバノン

災害で苦しむ人々への支援



サイクロンの被災地で医療活動を行う日本赤十字社医師

モザンビーク



岡山県支部も積極的に資金提供

災害が多発するアジア・大洋州地域に「給水・衛生災害対応キット」を整備

ネパール

病気で苦しむ人々への支援



©Juan-Carlo

子どもたちに正しい手洗い方法を伝える日本赤十字社看護師

フィリピン



岡山県支部からも指導員を派遣

救急法の技術を伝える岡山県支部職員

東ティモール

NHK海外たすけあいが始まります!



実施期間: 令和2年12月1日(火)~25日(金)

岡山県内においては中国銀行の本支店、JAの各支所、各市町村の赤十字窓口、各赤十字施設等においてお受けしています。

赤十字が行う国際活動は皆さまからのご寄付によって支えられています。

皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

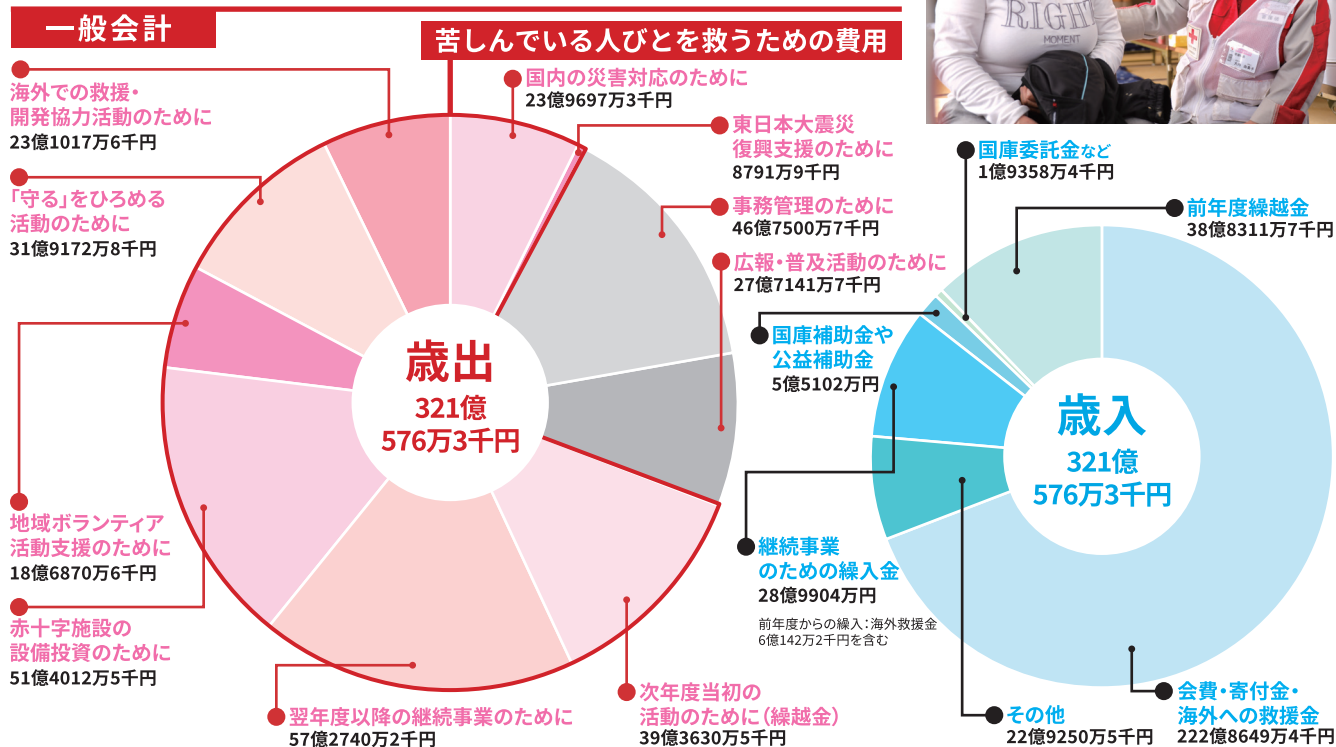
また、海外たすけあいキャンペーンサイトもオープンしておりますので是非ご覧ください。

[海外たすけあい](#)

[検索](#)

令和元年度 日本赤十字社の決算概要を報告します。

令和元年度、日本赤十字社は一般会計と3つの特別会計（医療施設、血液事業、社会福祉施設）をあわせて総額1兆3000億円を超える予算規模の事業を展開しました。このうち、個人・法人の皆さまからいただいた会費や寄付金を主な財源として実施した活動（一般会計）にかかる歳出歳入は以下のとおりです。



注1) 本社・支部間で重複計上されている28億7804万4千円については、歳出・歳入から差し引いて表示しています
 注2) 千円未満を切り捨てているため、歳出と歳入それぞれの各項目の合計額と表示している合計額は一致しません

全額が被災された方々に届けられます

災害義援金 141億1,953万1千円

【内訳】 令和元年台風第19号災害義援金	95億5万1千円
令和元年台風第15号東京都義援金	7428万9千円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	11億2513万6千円
令和元年8月豪雨災害義援金	3億5886万8千円
平成30年7月豪雨災害義援金	6億3841万9千円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	8億8533万9千円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	8430万6千円
平成28年熊本地震災害義援金	2億2922万8千円
東日本大震災義援金	12億2389万1千円

※千円未満を切り捨てているため、合計は一致しません



写真すべて©Atsushi Shibuya/JRCS



守る働く乳酸菌L-92

「カルピス」由来の乳酸菌研究により選抜された「L-92乳酸菌」を含む乳性飲料です。
カラダの中から強くなりたいあなたの体調管理に役立ちます。

※個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。

読者プレゼント

提供：アサヒ飲料株式会社

守る働く乳酸菌L-92 1ケース(100ml×30本) 3名様

応募方法

はがきに、①郵便番号②ご住所③お名前(フリガナ)④性別⑤「赤十字おかやま」のご感想を明記のうえ、日本赤十字社岡山県支部(住所は下記に記載)あてにお送りください。

令和2年12月18日(金)必着。

当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。